

1. 科目名 (単位数)	情報倫理 (2 単位)	3. 科目番号	EDIT2305
2. 授業担当教員	里吉竜一		
4. 授業形態	講義および演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	情報科教諭免許選択科目 (ただし、情報科教員として必須の内容であるの履修することが望ましい。)「情報セキュリティ」と併せて履修することを推奨する。(履修条件ではないので、どちらか片方だけの履修でもよく、履修順序も問わない)		
7. 講義概要	本科目では、情報機器およびインターネットを活用するときの基本的倫理を学習する。また、情報社会における多様な情報倫理に関する諸問題を把握するとともに、その理論的根拠について考察する。具体的には、知的所有権、プライバシー、ネチケット、セキュリティなどの情報倫理について解説し、適切な行動様式を体得することを目標とする。		
8. 学習目標	情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、技術的側面のみでなく、倫理や社会的側面にも焦点を当てて論じることができるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	担当教員作成の e-Text の内容を考察し、発表レジメをまとめて授業で発表及びディスカッションを行うという、アクティブ・ラーニングを通じて実社会で通用する周りの人と協力し合う能力や自ら進んで学ぶ能力を身に付けることができます。最終課題は、授業で学習した内容について簡潔に要点を整理し、それらに対する自分の意見を発表して提出します。 ・レポート課題 (各講義毎) ・最終課題 (1 回)		
10. 教科書・参考書・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書：本講義は実践性とフロンティア性を重視し、担当教員作成の e-Text を使用します。</li> <li>副教材：Ryuichi Satoyoshi『Human beings and generative AI』Kindle Edition Amazon Services International LLC, 2024。 里吉竜一『情報倫理教育における核心的課題の構造的分析』日本情報教育学会、2025。 情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ『情報倫理 改訂版』実教出版、2023。</li> <li>参考書：講義の中で適宜紹介します</li> </ul>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、技術的側面を説明できるか。</li> <li>情報技術を利用する上での安全性やモラル等の諸問題に関して、倫理や社会的側面を説明できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平常点(授業への積極的な参加・小テスト・レポート等) 50%</li> <li>最終考課(テストもしくは最終課題) 50%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>正解を事前に設定できない問題を科学的な根拠に基づいて解決し、生涯にわたって自ら学び続けられる素養を身に付けることができます。</li> <li>Society5.0 と GIGA スクール構想に対応した授業を設計するので各自パーソナルデバイス (スマホかタブレット) を準備してください。</li> <li>質問はいつでも気軽にしてください。</li> <li>欠席、遅刻、早退をする場合は連絡してください。</li> <li>本学規定により 3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認められないので注意してください。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	・面談や補講の希望者は事前にメール等で連絡してください。p-ryosatoyo@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション I 情報倫理の概要、ICT 経験値に関するアンケート、アクティブ・ラーニングについて確認して講義の導入とします。	事前学習	はしがきを読んでおく。
		事後学習	発表レジメの書き方や発表の方法等について理解した上で、資料収集、レジメ作成や発表準備を始める。
第 2 回	情報とは何か —情報と情報社会の特徴	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第 3 回	道徳・倫理・法律について —情報の受信・発信と個人の責任	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第 4 回	善意・悪意・過失・無過失 —個人情報	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第 5 回	ネットワーク社会における「情報倫理」 —知的財産	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第 6 回	代表的なネットトラブルと犯罪 —電子メールによる情報の受信・発信	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。

		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第7回	加害者にも被害者にもならないために —Web ページによる情報の受信・発信等	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第8回	自分と他者を守るネット利用 —身近な生活における情報	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第9回	内面モラルから構造設計責任へ —社会生活における情報	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第10回	デジタル社会の落とし穴 —ネット社会におけるトラブルと犯罪	事前学習	担当教員作成の e-Text を読んで要旨をドキュメントファイルにまとめて提出しておく。
		事後学習	発表とディスカッションをもとに要点をまとめる。
第11回	最終課題作成【ワード】 これまでに学習した内容をワードで最終課題として作成するために、「テーマ」「作成条件」「評価規準」を確認して評価方法、評価システム、教育的価値等を講義します。	事前学習	これまでの授業内容を復習しておく。
		事後学習	諸条件を確認して最終課題を作成する。
第12回	最終課題作成【パワーポイント】 これまでに学習した内容をパワーポイントで最終課題として作成します。	事前学習	パワーポイントを復習しておく。
		事後学習	諸条件を確認して最終課題を作成する。
第13回	最終課題提出 これまでに学習した内容をワードとパワーポイントで作成して所定の場所に最終課題として提出します。	事前学習	これまでの授業内容を復習しておく。
		事後学習	諸条件を確認して最終課題を提出する。
第14回	最終課題発表：自己評価と相互評価 最終課題を発表します。学生自身が他者の最終課題を評価するのと同じように客観的に自己の最終課題も評価する実践を行います。自己の内面に向かう自己教育力の醸成を目的とします。	事前学習	前回の授業内容の復習をしておく。
		事後学習	「評価規準」を確認して自己評価及び相互評価の教育的価値を考える。
第15回	総合演習：自己評価能力得点の開示 自己評価と相互評価の差異から自己評価能力の客観性レベルを意識することで自己教育力の育成が図られる意義と Society5.0 に相応しい評価システムの目的を講義します。	事前学習	最終課題を客観的に評価する意義を考えておく。
		事後学習	どうしたら客観的な自己評価ができるようになるかについての考察を深める。